

令和2年度静岡支部 保険者機能強化予算について

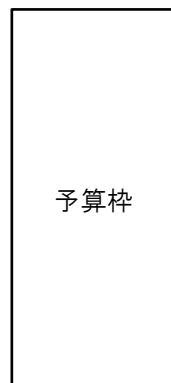
支部予算体系のイメージ

- 平成31年度予算から、医療費の節減につなげていくことを目的に医療費適正化や健康づくり等の保険者機能を強化する取組を実施する場合には、「支部保険者機能強化予算」として計上する
- 「支部保険者機能強化予算」で実施する事業の予算配分は、基本的に支部の裁量で設定

支部保険者機能強化予算

①基礎的業務 関係予算

支部事務室賃料など、
支部の基本的な業務
運営に必要な予算



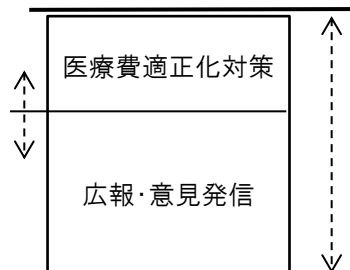
②支部医療費適正化等予算

医療費適正化対策や広報・意見発信など、
地域の実情等を踏まえた取組を推進する
ために必要な予算

企画・サービス向上関係経費

平成31年度支部予算枠
約2,000万円

分野ごとの配分は原則、
支部の裁量で設定できる



全体予算枠について、
支部毎に配分

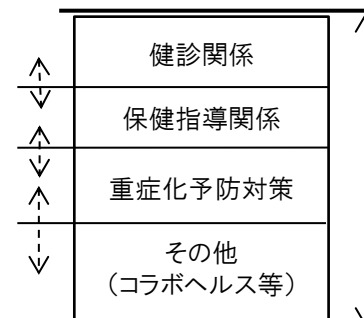
③支部保健事業予算

受診勧奨対策や重症化予防対策など、
保健事業における重点的な取組を推進するた
めに必要な予算

保健事業経費

平成31年度支部予算枠
約1億円

分野ごとの配分は原則、
支部の裁量で設定できる



全体予算枠について、
支部毎に配分

平成31年度 静岡支部保険者機能強化予算の特徴（支部医療費適正化等予算）

平成31年度 支部医療費適正化等予算 約1,940万円

(内訳)

医療費適正化対策
約1,080万円（55.7%）

- AMRアクションプランに沿った抗菌薬適正使用に向けた地域分析
- フォーミュラー推進に向けた地域医療機関向けフォーラム
- 地域医療構想の推進に向けたレセプト解析 など

広報・意見発信
約860万円（44.3%）

- 広報誌「けんぽ便り」の作成
- メディアを活用した支部事業の周知
- 健康経営・宣言事業所への情報発信 など

静岡支部保険者機能強化予算のポイント

- 他支部と比べ医療費適正化対策分野への予算配分が多い
（参考）支部医療費適正化等予算に占める医療費適正化対策分野の割合
同規模A支部：38.8% 同地区B支部：26.9%
- レセプト分析等によるデータを用いた意見発信および地域医療の本体部分への働きかけへの積極的な取り組み

令和2年度保険者機能強化予算要求の基本方針

平成31年度に引き続きデータを用いた、医療の本体部分への働きかけを積極的に行うべく意識した予算配分を行う

平成31年度 静岡支部保険者機能強化予算の特徴（支部保健事業予算）

平成31年度 支部保健事業予算 約10,550万円

(内訳)

健診関係 約5,620万円（53.3%）	保健指導関係 約2,810万円（26.7%）	重症化 予防対策 約1,470万円 （14.0%）	その他 （コラボヘルス等） 約640万円 （6.0%）
○生活習慣病予防健診受診勧奨 ○事業者健診データ取得の外部委託 ○被扶養者に対する集団健診の実施 （オプション測定器付・自己負担額無料・がん同時健診） ○健診推進費（インセンティブ）の活用 など	○健康相談を活用した健診当日の 特定保健指導初回面談の実施 ○外部委託による特定保健指導利 用勧奨 など	○健診機関お よび委託業者 からの未治療 者受診勧奨 など	○事業所と連 携した禁煙事 業 ○健康経営啓 発事業 など

静岡支部保険者機能強化予算のポイント

- 被扶養者の特定健診受診および加入者全体の特定保健指導利用拡大のため、集団健診および健診会場での健康相談実施に全体予算の約3割を配分
- 健診推進費（インセンティブ）を活用した、健診機関による受診拡大の取組みの促進
- 重症化予防対策として、31年度より新たに健診機関・委託業者からの未治療者受診勧奨費を計上

令和2年度保険者機能強化予算要求の基本方針

重症化予防対策に加え、事業者健診データ取得、被扶養者の特定健診・加入者全体の特定保健指導にかかる外部委託を拡大することにより、支部保健事業の弱みを克服し、強みを伸ばすべく予算配分を行う